

# Microsoft Windows NT/2000 ワークステーションの物理メモリの量の特定

## 目次

[概要](#)

[前提条件](#)

[要件](#)

[使用するコンポーネント](#)

[表記法](#)

[Microsoft Windows NT](#)

[Microsoft Windows 2000](#)

[関連情報](#)

## 概要

このドキュメントでは、Microsoft WinMSD を実行して Windows NT/2000 ワークステーションの物理メモリの量を判別する方法について説明します。WinMSD は、Microsoft Windows NT/2000 を実行しているコンピュータに関する詳細な設定情報の収集に使用するユーティリティです。

## 前提条件

### 要件

次の項目に関する知識があることが推奨されます。

- Microsoft Windows NT Server 4.0
- Microsoft Windows 2000

### 使用するコンポーネント

このドキュメントの情報は、次のソフトウェアとハードウェアのバージョンに基づくものです。

- Microsoft Windows NT Server 4.0
- Microsoft Windows 2000

このドキュメントの情報は、特定のラボ環境にあるデバイスに基づいて作成されたものです。このドキュメントで使用するすべてのデバイスは、クリアな（デフォルト）設定で作業を開始しています。ネットワークが稼働中の場合は、コマンドが及ぼす潜在的な影響を十分に理解しておく必要があります。

### 表記法

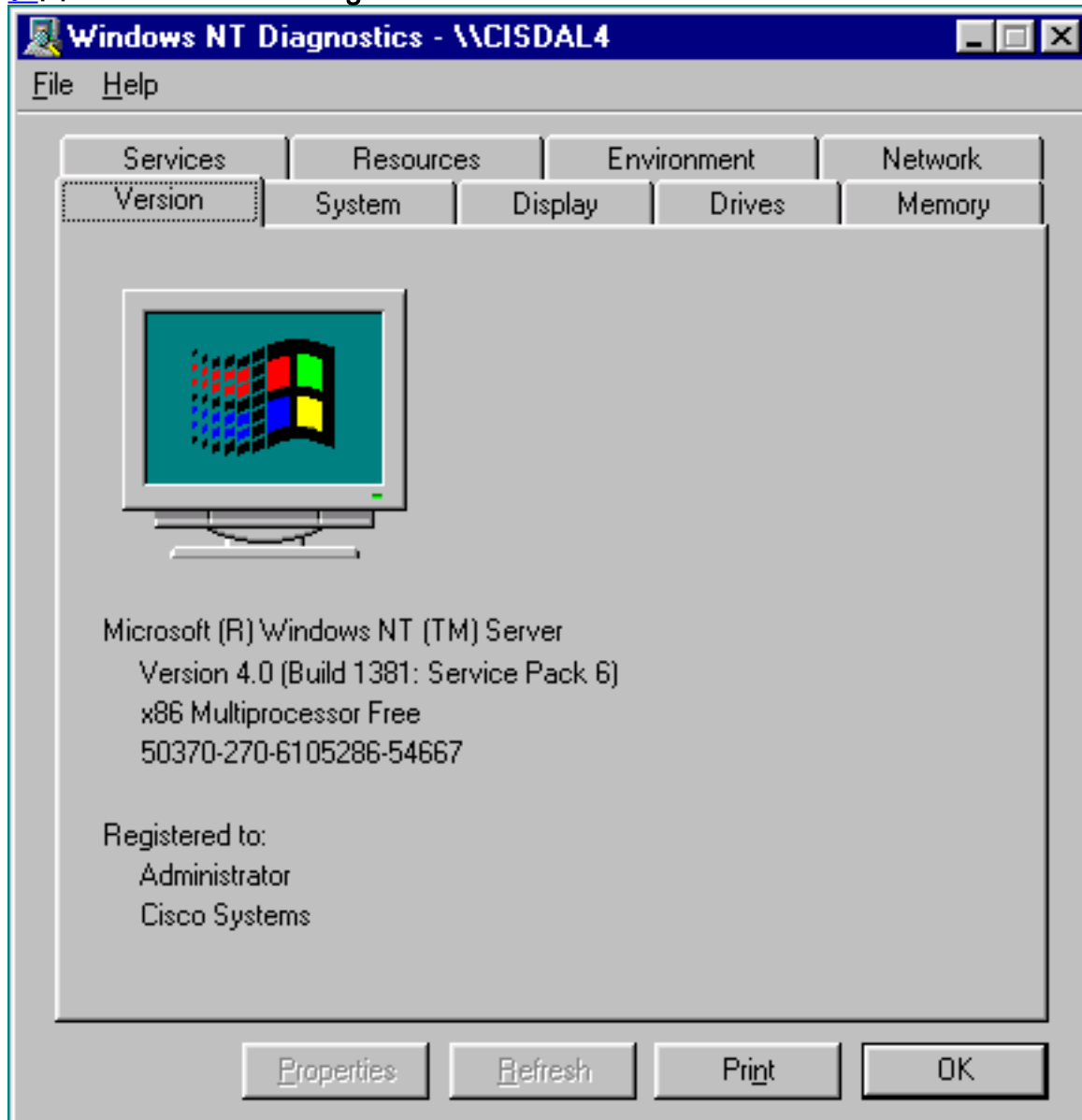
ドキュメント表記の詳細は、『[シスコテクニカルティップスの表記法](#)』を参照してください。

## Microsoft Windows NT

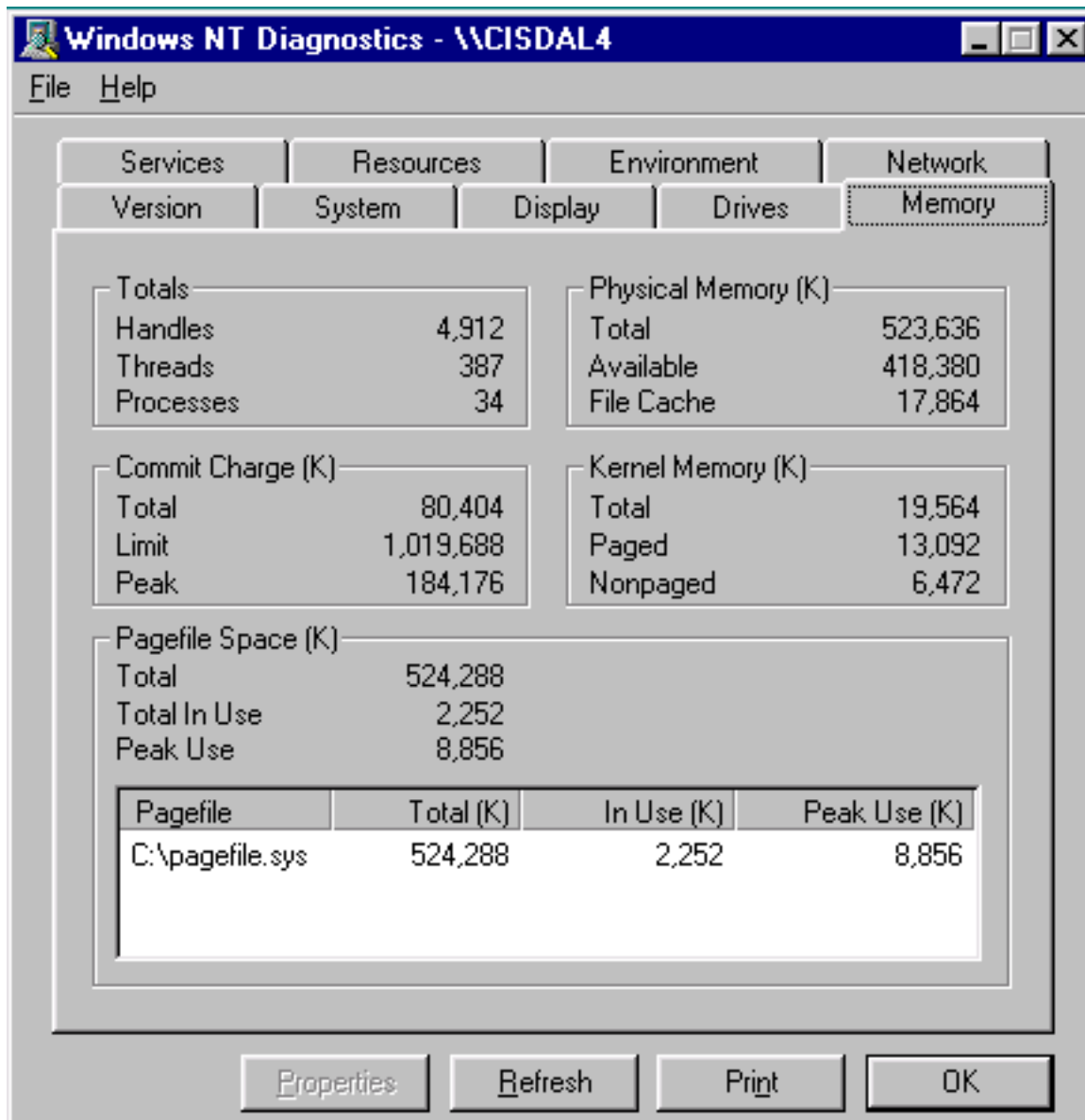
Windows NT 環境において、個別の Cisco Intelligent Contact Management (ICM) ノードにインストールされている物理メモリの量を決定するには、次のステップごとの手順に従ってください。

1. コマンド ウィンドウまたは [Run] ダイアログボックスで、**winmsd** と入力します。
2. **Enter** キーを押します。Windows NT Diagnostics ウィンドウは [図 1](#) に示すように、開きます。

。 [図 1](#) : Windows NT Diagnostics



3. [Memory] タブをクリックし、メモリに関するすべての関連情報を示す [図 2](#) を参照してください。この例では、次のような物理メモリの割り当てを示します。物理メモリ合計：  
523,636 KB 利用可能な物理メモリ： 418,380 KB [図 2](#) : Windows NT のメモリ情報

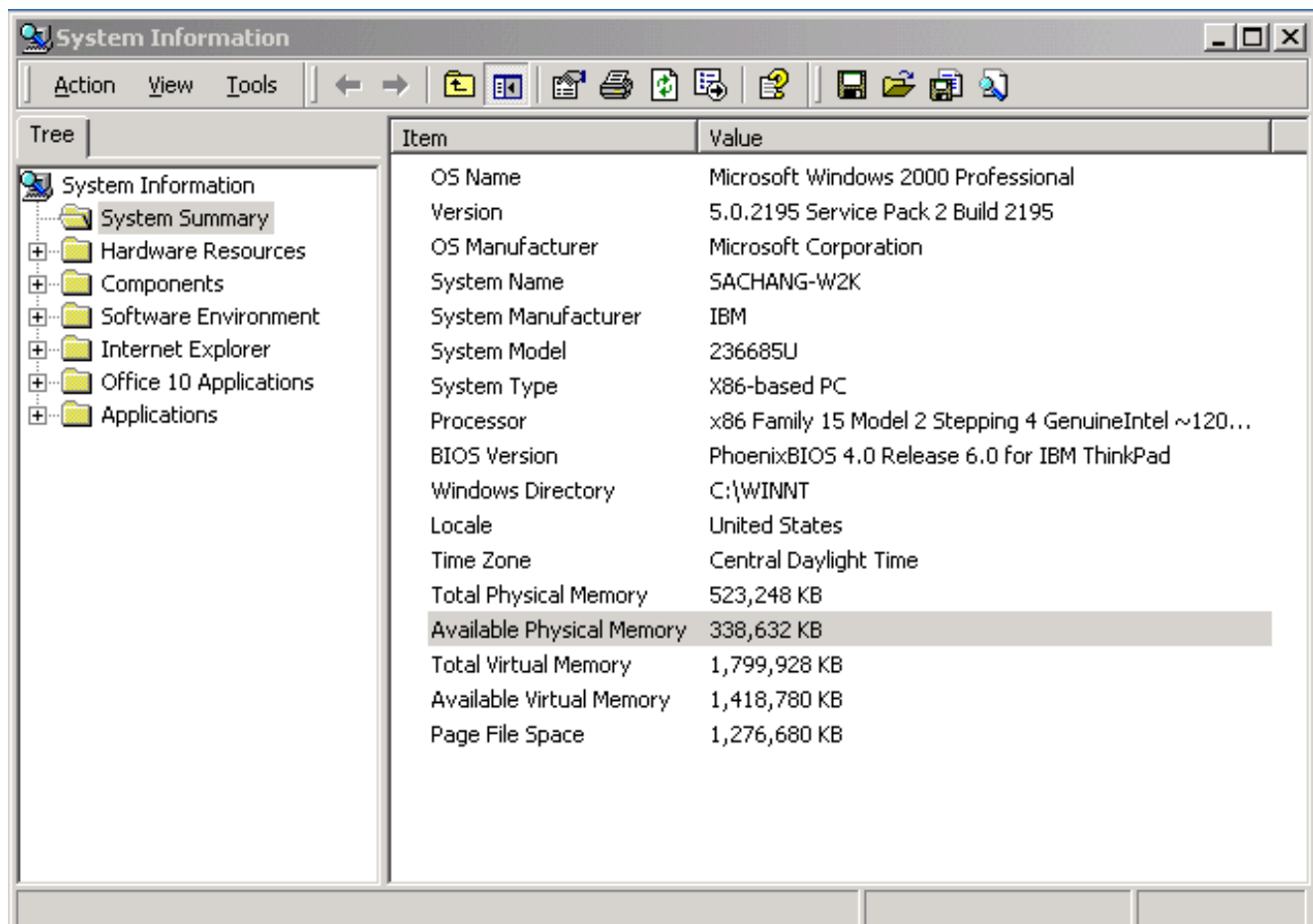


## Microsoft Windows 2000

このステップごとの手順は、Windows NT 環境において、個別の Cisco Intelligent Contact Management (ICM) ノードにインストールされている物理メモリの量を決定するのに役立ちます。

1. コマンド ウィンドウまたは [Run] ダイアログボックスで、**winmsd** と入力します。
2. Enter を押すと、[図 3](#) のような [System Information] ウィンドウが開きます。物理メモリの割り当て内容は次のとおりです。物理メモリ合計：523,248 KB利用可能な物理メモリ：338,632 KB

図 3 : System Information ウィンドウ



## 関連情報

- [テクニカルサポートとドキュメント - Cisco Systems](#)